

『志』

～第2学年 学年通信 No.12～

令和7年12月5日（金）発行



いよいよ12月、今年も残りわずかとなりました。10月には合唱祭で力を合わせ、11月には職場体験活動にも挑戦しました。地域の方々に支えられながら働く体験を通して、「働くことの意義や大切さを学びました。」「働くことは人を笑顔にすることだと感じました。」といった声が聞かれました。普段の学校生活では味わえない学びが、皆さんの心にしっかり残ったことと思います。健康に気を付けて、12月の残りの期間を気持ちよく過ごしましょう。

■12月2週目の予定

8(月)	9(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)
全校朝礼 ③カット ①：学活 三者面談最終日	③カット ⑤：総合 ⑥：専門委員会	①：道徳 ②～⑤：通常授業	①～⑥：通常授業	①～⑤：通常授業 ⑥：総合


■コラム

こんな投稿を目にしました。中学の時に会いたかった文章だと感じたので、皆さんに紹介します。

『勉強する意味とは？』 Xの投稿より

「数学」を学べば、この中に200mlの水があると数字で見えるようになる
「理科」を学べば、この水は水素と酸素からできている事がわかる
「社会」を学べば、この水がどこからきたかがわかり、そして世界にはこの綺麗な水を飲むことができない人たちがいることを知れる
「美術」を学べば、この水の反射を綺麗に描く方法を知り、水の美しさを知れる
「音楽」を学べば、同じコップでも水の量で音を変えられることに気付ける
「技術家庭」を学べば、このコップがどんな素材でなぜ漏れないのかがわかり、人の創造の凄さを知れる
「保健体育」を学べば、この水が体にどれだけ大切なのか、健康を支える命の正体が見えてくる
「英語」を学べば、この話を世界中の人と分かち合えるようになる
「道徳」を学べば、この水を誰かと分かち合うことの大切さを学べる
「国語」を学べば、今話した全部の意味を正しく理解できるようになる

でも、もしも何も学ばなければ、このコップの中にあるのは「ただの水」で終わる。
だから勉強する。この世界を、ただ見ているだけの人生で終わらせないために。



■合唱祭の作文

「合唱祭」

今年の合唱祭は、最初あまり気が進まなかった。歌うのってなんか恥ずかしいし、まあ適当にやればいいかと思っていた。でも、練習が始まってみると、意外と難しくて、声が揃わなかったり、音が外れたりして、先生に何回も注意された。男子はふざけて笑ったりして、全然まとまらなかった。

指揮者や伴奏者がすごく真面目に頑張っているのを見て、これはしっかりやらなきゃいけないと思うようになった。そこから少しずつみんなのやる気が出てきて、放課後練習も頑張れるようになった。練習中に「今のすごくいい。」って、先生に言われたときは、少しうれしかった。だんだんクラスの歌声がそろってきて、歌っていて気持ちいいと思えるようになった。男子もふざげなくなって、本気で歌うようになってきた。クラスの雰囲気も前よりも良くなって、練習中に自然と笑いが出ることも増えた。

本番の日、ステージに立ったときはとても緊張した。でも、指揮者の合図で歌い始めたら、不思議と落ち着いて、練習してきたことを全部出せた気がした。文化センターに自分たちの歌声が広がっていく感じが、すごく気持ちよかった。歌い終わったとき、みんな達成感に満ちていた。全部の努力が報われたと思った。

合唱祭を通して感じたことは、やっぱり本気で頑張ると楽しいってことだと思った。正直、最初は面倒だと思っていたけど、今は本気でやってよかったと思う。クラスのみんなで力を合わせた歌は、きっと一生の思い出になると思った。

「二回目の合唱祭」

今年は中学生になって二回目の合唱祭でした。去年の合唱祭は初めてだったので、どうやったら上手に歌えるのかよくわからず、ただ歌っているだけのことが多かったです。二年生になって、二回目の合唱祭の練習をするとき、最初はこんな難しそうな歌を自分の力できれいに歌えるのか不安になりました。でも、音楽の授業や放課後などを使って練習したおかげで、良くなっていきました。また、家ではクラスの曲や学年の曲を聴いたり、暗譜したりしました。はじめの頃は、歌の最初の部分しか覚えられていなくて、ここから本番までに、何も見ずにしっかり歌えるだろうかと大きな不安を持っていました。だけど、曲を聴きながら、声に出しながら練習をしていくうちに、少しずつ自身がついてきました。

本番前、最後の練習では何回も通して歌ったりはしなかったけど、その練習で覚悟を決めることができました。いざ、舞台に立ったとき、最初は不安や緊張に襲われていたけど、今までの練習を思い出して実力を発揮して歌うことができました。歌い終えたときの達成感はとても大きかったです。今回の合唱祭を通して僕は、協力の大切さを学びました。来年は中学校生活最後の合唱祭なので、より自分を成長させて、今年を超えられるようにしたいと思いました。また今年を超えるには、仲間のことも考え協力してやっていきたいと思いました。

「初めての実行委員になって」

僕は、色々な行事を行ってきた中で、初めてみんなの指揮をとる、実行委員になりました。最初のうちは、みんなをまとめるのが難しかったけれど、クラスの人々と協力して、少しずつまとめられるようになりました。僕は、実行委員をやるうえで、嫌われてもいいからみんなをまとめようと思って行動をしていました。自分の仕事をしない人、しっかりと歌ってくれない人、僕たち実行委員の話を聞いてくれない人などが半分くらいいて、大丈夫かな？と思っていました。ですが、音楽の授業、放課後練習を通して、どんどん改善されていき、伴奏、指揮の連携もしっかりとしてきました。

そして合唱祭当日、みんな緊張をしている様子でしたが、その中で、楽しみだな、絶対成功させてやる、と意気込んでいる人もいて、僕も頑張ろうと思いました。リハーサルは朝だからか少し声が小さかったけれど、とても良い合唱でした。学年合唱はみんなよく声が出ていて素晴らしかったです。そして僕たちのクラス合唱の番、去年よりもずっと緊張しました。声が出るか、音が間違えてないかなど、一気に込み上げてきました。歌い始めて、少し声が出しづらかったけれど、どんどん声が出るようになりました。合唱が終わった後の昼食中、伴奏の人がミスをしたのが悔しくて泣いてしまいました。でも、その人の努力が伝わってきて目が潤んでしまいました。みんなが努力して、みんなで作った合唱祭はとても楽しかったし、とても良い思い出になりました。来年も実行委員をやりたいです。

